

再発防止策について

令和 5 年（2023年） 1 1 月

北陸地方整備局
富山河川国道事務所
利賀ダム工事事務所

今回の事案発生を踏まえた再発防止策

○今回の事案発生要因を踏まえ、下記の再発防止策を実施

【今回の事案の発生要因】

- 氾濫シミュレーションの計算結果や費用対便益比の算定結果におけるチェック体制は構築していたが、計算条件の設定根拠(確率規模別雨量)に関するチェックプロセスを位置付けていなかった
- 計算条件の設定根拠に関するチェックを行うための時間をスケジュールに組み入れていなかった
- 照査項目に計算条件の設定根拠に関する項目が含まれていなかった

【再発防止策】

- 計算条件の設定段階での複数人数によるクロスチェックの実施
- 計算条件の設定根拠をチェックする時間を確保した全体スケジュールの設定
- 事業評価に関する照査項目に下記を追加し、照査の徹底を図る
 - ・ 計算条件について、その根拠が整理されているか
 - ・ 設定した計算条件で氾濫シミュレーションが実施されているか